



那覇市重要政策マネジメントが導入されて5か月が経過しました



「とまりん」が元気になります

今年中には債務超過（つまり倒産です）寸前を迎えようとしていました。

そこで、

那覇防衛施設局という大口の借り手を迎えることにより最悪の事態を脱しようとしていきます。

昨年の十月から年末までは市民課などの窓口を午後七時火曜日と木曜日の週二日間、まで開けてきました。今年に

土・日窓口開設、時間延長の実施



進」、那覇空港から市街地に向けて、南国情緒たつぷりで観光客の皆様を迎える「ピースフルロード整備」、昨年の



ホームヘルパーとして、社会で活躍するためにヘルパーの資格を取得しようとする方を支援するため、本市では、平成13年4月1日～平成14年3月31日までにホームヘルパー2級課程修了者に対し**2万円**の助成金を支給します。

- 1 募集期間** 平成24年2月1日～平成14年2月28日
- 2 対象者** (①～④のすべてに該当すること)
- ①平成13年4月1日～平成14年3月31日までにホームヘルパー2級課程を修了又は修了見込みの者
 - ②受講料を自己負担している者で、他の助成制度(教育訓練給付制度等)を利用していない者
 - ③2級課程終了時及び申請時において那覇市の住民である者
 - ④本人市民税非課税の者
- 3 助成人数** 25人(申込者多数の場合抽選にて決定)
- ただし、以下の団体が開催する2級課程の研修は、助成の対象外とします。
- ①地方自治体 ②雇用・能力開発機構 ③介護労働安定センター
 - ④その他公共の団体が主催する研修
 - ⑤公立学校又は学校法人等における教育課程において行われる2級課程
- 4 助成希望者は、必要書類(ちゃーがんじゅう課にあります)をそろえて申請して下さい。**
- 

問い合わせ ちやーがんじゅう課（那覇市役所本庁2階）
在宅福祉係 ☎862-9010

とまりん対策

すでに取り組みが開始されています

昨年8月8日に、「那覇市重要政策マネージメントシステム」を公表してから、およそ4か月が経過しました。49項目に及ぶ内容で、那覇市の各部署で取り組み態勢が整いつつあります。

掲げられた項目ごとに、市長や助役で四半期ごと（三か月に一度）に点検を行い、早めに実現をめざします。

昨年9月11日のアメリカにおける同時多発テロ以降、思わぬ形で沖縄に深刻な影響を及ぼしています。

特に、沖縄のリーディング産業である観光産業は最悪の立場にあります。

毎年、伸び続けていた本土からの修学旅行はキャンセルがあいつぎ、ホテルや土産品店などは悲鳴をあげています。

那覇市としても、懸命に立ち直りの策を講じているところ です。

これまでの行政は、市民の

皆様は目線からしますと、ややもすると「お役所仕事」とありがたくない評価がなされたりしてきたのも事実です。

そのことを克服するために、さらには迅速に対応をする目的で設定されたのが、那覇市重要政策マネージメントシステムです。

項目によつては、すぐに取り組みめるもの、一年くらいは要するものとさまざまです。ここでいくつかの項目について現時点での取り組み状況を報告させていただきます。

保育所の統廃合、民間委託



安謝保育所や老人養護施設などがある安謝福祉複合施設

12月市議会でも安謝保育所の民間委託問題が大きくクロースアップされました。那覇市内には保育所に入りたくても入れない子どもたちが多くいます。那覇の次代を担う子どもたちに少しでも等しく光があたることを心がける必要があります。

安謝保育所がある安謝複合施設はもとも民間に委託することを前提として建てられた経緯があります。そのため、「条例」においても、民間委託が可能な規定が設けられていました。今年四月からの委託に向けて、今後とも保護者の皆様との話し合いを続けながらご理解を得て実施に向けての努力を重ねます。

ごみ減量資源化実施計画

那覇の街が、ごみに埋もれている姿を想像してみてください。ごみ問題は待ったなしの状況にきています。これまでごみ問題はたくさん語られてきましたが、実際には解決に向けての実践が不足していました。門口収集が行われるようになってから、ごみの減量化が進んでいますが、なおいろいろな手法で一層の減量化に取り組む必要があります

給与制度改革計画

なつて三月末までは月曜日から金曜日まで、窓口業務を広げます。いろいろな角度から比較検討をして、今年四月から本格実施を行います。

　　広く市民の皆様の声も聞きながらサービス向上に務めていくものです。

港灣一部事務組合設立

県と蒲添市と那覇市でもって、那覇港湾一部事務組合の立ち上げを、今年四月をめどに予定しています。那覇港は県民の日常生活に不可欠な物流の拠点です。今後は国際港湾として発展させるために港湾整備を行います。

電子市役所の実現

これからの情報時代は、確かにコンピュータが不可欠になります。ＥＴ時代の到来に備えて、市民の皆様がＥＴに馴染んでいただく事業をすでに開始しています。市役所に

おいても職員にパソコンを配置して電子市役所実現に向けての一歩を踏み出しました。

近い将来、市民の皆様や企業に対しては双方方向の情報交換が可能になってきます。

その他の項目について

以上、幾つかの取り組みを紹介しましたが、それ以外にも廃棄物の資源化などを指す「ゼロエミッション基本構想の策定」、これまで累積赤字を積み重ねていた伝統工芸館の再生を目指す「伝統工芸館の再生計画」、平成18年の稼動に向けた「新焼却炉の建設事業」、平成15年に運行が開始される「都市モノレール経営対策」、昨年10月に設置された那覇軍港総合対策室により具体的な跡利用計画が待

成人式ははからずも全国ユニースになってしまいましたが改善を目指しての「成人式のあり方」、今日の那覇市は三市一村が合併して出来上がったんですが、新たな歌詞の市歌も必要ではということので「市歌改訂」など、具体的な形で取り組みが始まっています。まだまだ取り組み不足の項目もありますが、今後とも各部署と三役が改革の意思を確かめあいながら事業を進めていく予定ですのでご注目下さい。

野鳥観察会

市民の間で自然保護活動への意識が高まっています。幸い本市には、末吉公園の森、漫湖干潟や具志干潟など、渡り鳥や野鳥の生息地が残っています。

この身近な自然の中で野鳥の活動を観察・学習することで、都市環境の現状や環境の保全について一緒に考えてみませんか。

日 時 2002年1月26日 (土)

午後1時～午後5時まで(予定)

募集人員 50名

場 所 具志干潟及び三角池

(集合場所:瀬長島入口右側広場)

持参するもの 双眼鏡、筆記用具を持参。軽装

申込先 環境保全課 ☎862-9199

